（別紙様式３）

令和４年度あいちラーニング推進事業研究報告書【重点校】

学校番号　011
学 校 名　愛知県立　惟信　高等学校
校長氏名　中城　牧彦

研究責任者職・氏名	教　諭　・　木村　陽介
研究テーマ	タブレットを活用した授業実践と主体的・対話的で深い学びについて
本年度の研究目標	（１）昨年度までの研究指定事業を受けて、本年度も継続して各教科で授業での ICT 機器の活用方法について研究を深める。 （２）タブレットの有効利用により、生徒の主体的・対話的で深い学びを推進する。 （３）学習評価につながるタブレットの活用方法を各教科で研究し、学校全体で共有する。

研　究　の　実　施　内　容

実施月日	内　　容	備　考 (対象生徒等)
2022 年 4 月～6 月	・Microsoft Teams を含めた Microsoft Office の研究と実践。	
9 月 21 日	・主管校である昭和高校の研究協議会に参加。愛知県立大学の大貫准教授による「教育評価の理論と具体的方策」の講義を受講。	教務主任　木村
11 月 15 日	・公開授業（国語・数学・地歴・理科・英語）及び研究協議会を実施し、主管校の昭和高校よりご指導いただいた。	
12 月	・欠席、遅刻の連絡を Microsoft Forms で実施できるようにし、業務の効率化を図った。	
2 月 9 日	・授業改善ゼミを実施し、学習評価や授業でのタブレットの活用方法について情報交換。	全職員

研究成果の評価及び普及・還元に関する実績

昨年度より継続して Microsoft Teams を利用し、学級経営や授業での課題配信、課題提出などで活用した。また、授業でのタブレットの活用方法など、公開授業や研究協議をおこなうことで、多くの教職員にとって研修の場とすることができた。また、欠席・遅刻の連絡を電子化することで、ICT 機器を使用することが日常化し、授業やその他業務での活用につなげられた。

※　本研究報告書は、令和５年３月 13 日までに当該地区の主管校に提出する。
※　名古屋地区においては、緑丘高校、惟信高校、中村高校は昭和高校へ、南陽高校、鳴海高校、名古屋南高校、名古屋工科高校は天白高校へ提出する。